

聖愛

十二月号

原町聖愛保育園

二〇〇七年十二月一日 発行

今年最後の月になりました。園庭を吹き抜ける風で飛んでいく葉を見て、「先生、木がお洋服を脱いでるよ」「木が寒そうだね」といった声が聞かれます。子どもたちの、この豊かな感性を大切にしていきたいと思います。

待つことは喜び

現代は、全てがスピード時代。利便性や効率といったことが優先され、追及され続けています。その中で生活する私たちも、そのことを当たり前のよう利用して、「待つ」ことが時間の無駄とか、自分が現実から取り残されてしまうかのような錯覚さえしてしまうこともあります。

しかし、効率が悪い、無駄と思われる「待つ」経験は大事なことです。「待つ」ことの中に期待や願いを込め、希望を抱いてあれこれと想いをめぐらしたり、想像を膨らませたりしながら、待つものを意識して過ごします。そして途中にも、その時々には気持ちや喜びがあります。

「待つ」ことは信じることです。「待つ」ことを経験しないことは、信じることも喜びも経験しないことになります。

十月中旬、年長児が御本陣山からどんぐりを拾ってきて、ポットに植えました。苗を育てて山に返そうという活動です。子どもたち自身が活動を通して、自分たちの未来の地球を考える人になってほしいと願っています。

園庭の端に置かれてあるポットを、遊びの合間に時々覗いている子どもがいました。この子はやがて芽が出て大きな木になることを信じ、どんぐりが実ったのを想像しながら楽しみに待ち続け、これからも何度も覗くのだろうと、見ている方もそのことを想像して同じ気持ちになりました。

十二月二日から、クリスマス待つアドヴェント（待降節）です。二千年の昔、救い主が誕生することを、人々は何百年もの長い間信じて待ち続けました。毎年アドヴェントを迎えますが、「待つ」ことの意義や、信じることの尊さを考えさせられ、心を改めさせられる思いがします。子どもたちと一緒に、心静かに、「待つ」喜びを味わいたいと思います。

園長 遠藤美保子

12月の主題 「うきうき」(年少) 「うれしいな」(ファミリー)

ベツレヘムにいるうちに、マリアは月が満ちて、初めての子を産み、布にくるんで飼い葉おけに寝かせた。 ルカによる福音書2章6～7節

| クラス | 保育目標 | 活 動 | 保育者の配慮 |
|--|---|--|---|
| てんし 0 歳児 | ◎クリスマスの雰囲気を感じる。 | ・クリスマスの讃美歌を聴いたり、クリスマスの絵本を見る。 ・はがす、引っ張る ・ままごと遊び ・固定遊具 | ・子どもたちがクリスマスの雰囲気を感じることができるよう、保育者自身がクリスマスを心待ちにし、喜びや嬉しさが伝わるようにする。 ・固定遊具など、からだ全体を動かす遊びへ誘い、個別の状態にあわせ、寒い時期でも外気に触れて過ごせるようにする。 |
| つぼみ 1 歳児 | ◎イエス様のお誕生日を知って楽しみに待つ。 ◎戸外で体を動かし、楽しむ。 | ・クリスマスの絵本を見る。(手作り絵本) ・楽器あそび(ピアノ、太鼓など) ・リズム遊び(ジャンプ、回る、手足ぶらぶら) ・追いかけて(しっぽ取り、音のなる方へ走る) | ・クリスマスは、イエス様のお誕生日であることを絵本や話を通して分かりやすく伝え、喜んで待てるようにする。 ・外では寒さに負けず過ごせるよう、追いかけてなどを通して体を動かせるようにする。また、保育者がリードし、走り出したくなるように促す。 |
| はな 2 歳児 | ◎イエス様の誕生を喜び、楽しみに待つ。 | ・クリスマスプレゼント作り ・集団遊び(追いかけて、オオカミさん今何時?) ・太鼓橋(渡り切る) ・登り棒(支えてもらいながらつかまる) | ・イエス様の誕生の絵本やクリスマスに関する絵本を見て、クリスマスという事を知り、関心を示し、楽しみに待つ事が出来る様に進める。 ・保育者が意識して集団での遊びに誘い、みんなで遊ぶことや、体をたくさん動かす楽しさを感じられるようにする。 |
| ファミリークラス 3 歳児 なみ 4 歳児 ほし 5 歳児 つき | ◎感じたこと、思ったことを言葉や体で表現する。 | 《室内》 ・クリスマスプレゼント作り(3,4,5才) ※4 ・マフラー作り(4才) ・版画(5才) ・小枝のペンダント、写真入れ(3才) ・クリスマス祝会の演物 ※1 ・聖誕劇(つき) ・切手集め ※3 ・世界のクリスマスについて知る(つき) 《戸外》 ・S字すり抜け(4,5才) ※2 ・逆上がり(5才) ・縄跳び遊び、鉄棒(4才) ・大縄跳び、鬼ごっこ(3才) ※5 ・登り棒(3,4才) ※5 ・ルールのある遊び(3,4,5才) ・マラソン(3,4,5才) | ・クリスマスの準備を通して、クリスマスの出来事を知り、友だちや保育者と喜び合えるよう雰囲気作りやことばかけに留意する。 ※4 ・年長児の真似をしながら取り組み、「僕たちもやれるんだ」という思いにつながられるよう、機会をつくったり誘ったりする。 ※5 |
| | ◎クリスマスを知り、みんなで喜んで待つ。 | | ・自分の役割を考え、友だちと力を合わせ、一つのことを作り上げる面白さや、楽しさを体験できるようにする。 ※1 ・自分たちで決めたルールを遊びに取り入れ、互いに考えを伝え合ったり相手の話を聞き入れたりしながら、一緒に遊ぶ楽しさを感じられるようにする。 ※2 ・クリスマスの喜びを家の人だけでなく、使用済み切手の回収などを通して、苦しみの中にいる人を覚え折り、世界中の人々や身近な人々にも心に向ける。 ※3 |
| | ◎イエス様のお誕生を心待ちにし、喜び、祝う。 | | ・イエス様の降誕の出来事を、自分たちで演じながら喜び、待ち望んでいることや、喜びを素直に表現できるように導く。また、クリスマスの準備を通して、小さな気持ちや感じたことを皆で感謝して過ごせるようにする。 ・この機会に周りの世界や事柄にも目を向けて行動したり、準備できるようにする。 |

< 12月の予定 >

| 日 | 園の予定 | 職員の予定 |
|--------|-------------------------------|----------------------|
| 1 (土) | せいあいまつり | |
| 3 (月) | 原町第一中学校保育体験 | |
| 4 (火) | 合同礼拝 | 聖書研究 |
| 5 (水) | 子育てサークル (レインボー) | 職員会議 |
| 6 (木) | 小人さんの音楽会 | |
| 10 (月) | しゃりん梅訪問 | クリスマス祝会打ち合わせ |
| 11 (火) | 長寿荘訪問 (ほし・つき) | 聖書研究 |
| 12 (水) | 子育てサークル (プーさん) | 相双支部保育士部会 |
| 13 (木) | 避難訓練 | 構造化会議 |
| 14 (金) | クリスマス総合練習① 久米本先生指導 | 保護者の出し物練習 Pm7:00~ |
| 17 (月) | お弁当の日 | マネージャー会議 |
| 18 (火) | クリスマス総合練習② | 企画会議 |
| 19 (水) | 子育てサークル (レインボー) | 子どもの救急について職員勉強会 |
| 20 (木) | クリスマス総合練習③ | 保護者の出し物練習 Pm7:00~ |
| 22 (土) | クリスマス祝会 | |
| 23 (日) | 天皇誕生日 | |
| 24 (月) | 振り替え休日 (休園) | |
| 25 (火) | しゃりん梅訪問 (つき) | |
| 26 (水) | 餅つき大会 巡回移動ことばの教室 | 給食会議 |
| 27 (木) | 小人さんの音楽会 | 園内研修 |
| 28 (金) | 久米本先生指導 保育終了→午睡布団、着替えの持ち帰り | |

◎1月4日(金) 保育開始 (普通保育)

《クリスマス祝会》 テーマ 「主と共に」

イエス様がお生まれになった嬉しい出来事を、みなさんと共に喜び合います。
今年は12月2日よりアドヴェントに入り、少しずつ近づく、イエス様の御降誕を心待ちにします。



《2007年度 クリスマス祝会》

- ・日時 12月22日(土) 午前9:00~12:00
- ・場所 原町聖愛保育園ホール
- ・対象 全園児、保護者、職員
- ・内容 礼拝 午前9:00~ 祝会 午前10:00~

◇保護者の出し物の練習は、14日(金)、20日(木)
時間 午後7:00~
場所 原町聖愛保育園ホール及び保育室

〈貸し出し絵本より〉 貸し出し日 毎週金曜日

クリスマスにちなんだ絵本を準備しました。是非お子さんと一緒にご覧になって、家庭でもイエス様の御降誕を心待ちにしましょう。



アドヴェントとは?

『アドヴェント』、「待降節(たいこうせつ)」は、クリスマス前の4週間の期間をさします。11月30日に最も近い日曜日で、今年は12月2日から始まり、4回の日曜日を経て、12月25日の『クリスマス』に至る期間をいいます。語源は「来るべき」という意味のラテン語。キリストが来られるという約束と平和への期待をあらわしています。

4本のロウソクを立てた『アドヴェント・クランツ』は、日曜日の礼拝ごとに1本ずつ灯火を増やしていき、4本のロウソクに火が灯ると『クリスマス』です。

園でも、各クラスにリース、クランツを飾って、それを囲んで礼拝を守り、みんなでその時を楽しみに待ちます。

〈もういくつ寝ると・・・〉

もうすぐお正月。休み中、テレビやゲームで遊ぶのではなく、昔から伝わる伝承遊びを楽しんでみましょう。今は、一人で遊ぶことが増えていますが、伝承遊びは、そのほとんどがみんなで一緒に行なう遊びです。その中で、文字や数への興味、多い少ないなどの比較・相手との協調、指先を使うなど、これからの成長に欠かせない経験を経験することができ、なにより人と人との交わりをたっぷり経験することができます。

園でも伝承遊びを保育の中に取り入れ、みんなで遊ぶことの楽しさやルールを守ることの大切さなどを伝えていきます。

○家庭でも簡単にできる遊びの紹介○

- ・すごろく…サイコロを振って出た目だけ進み、ゴールを目指す遊び。広告の裏に書いて作ることもできるので、すぐに楽しむことができます。
- ・風揚げ…お正月といえば風揚げ。広い野原(野馬追祭場地など)で行なうとよいでしょう。走る人と風を支える人、お互いの意思疎通が必要です。
- ・かるた…文字が読めるようになってきているファミリークラスの子どもたちには毎年人気の遊び。遊びを通して、文字や数に関心をもつ機会にもなります。

この他にも昔から伝わっている遊びが数多くあります。お家の方もぜひ一緒に楽しんでみてください。

〈お知らせ〉

流行しているインフルエンザに感染しないよう、外から帰ったらうがい・手洗いを忘れずに行ない、しっかり予防しましょう。



〈長寿荘訪問〉 12月11日(火) つき・ほし組

6月に「花の日」で訪問したおじいさんおばあさんに再び会いに出掛け、クリスマスの喜びを伝えてきます。

内容は、うた、ハワイアンフラ、ハンドベル演奏を披露してきます。

(8時30分までに登園、制服着用、履き慣れた靴、天候に合わせた防寒着を持たせてください。)

〈餅つき大会〉 12月26日(水)

杵と臼を使って餅をつきます。炊き立てのお米の匂いを嗅いだり、実際に餅をついたりして、餅が出来上がる様子や大変さ、楽しさを感じます。出来上がった餅は、みんなで味わいます。



〈外で遊ぼう!〉

朝夕の冷え込みが厳しくなっていますが、子どもたちは寒さに負けず、園庭で元気に遊んでいます。年少クラスでは、「オオカミさん今何時?」や追いかけてなどの集団遊び、ファミリークラスでは縄跳びやケイドロなどを楽しんでいます。

これからの季節は室内遊びが多くなってしまいがちですが、是非お子さんと一緒に外に出て体を動かしてみましょ。体が温まり、体力がつき、免疫力も高まって、風邪のひきにくい体になります。ちょっと走るだけでも十分温まります。

送迎の際の駐車について (お願い)

寒くなると特に、送迎の際にエンジンをかけたままにしがちですが、車上荒らしの防止(以前被害に遭われた方がいらっしゃいます)や、自然環境の保護の為に、エンジンの停止及び、鍵の施錠をお願いいたします。

